

資格取得へ 受験研修会

道設備設計事務所協会

北海道設備設計事務所協会(山田修会長)は11日、札幌エルプラザで2024年建築設備士の試験に向けた受験研修会を始め、9人が資格取得へ一歩を踏み出した。同協会は08年から資格の取得を支援する目的で研修会を開始。24年3月16日まで計10回の研修会と5月11日の模擬試験を予定し、6月下旬の一次試験に備える。



堀井淳史技術委員長は、準備すべき書籍について解説。建築設備士学科問題解説集と建築設備関係法令集の2つが必須で、問題解説集は社内や試験の感触をつかみ合格を誓った。

先輩から入手するなどして過去10年間分を解き、95点以上を確実に取れるよう指導した。試験傾向を振り返り、「近年、合格ラインが上がり、基準点70点をクリアすれば合格できたのは過去の話になっている」とし、「いかに勉強時間を確保し、過去問を解くかが大事。それぞれがうまく自分の時間を工夫して毎日取り組む習慣をつけてほしい」と呼び掛けた。

この後、受講者は実際の試験問題を解いて試験の雰囲気をつかんだ。